

自己評価報告書

令和3年2月9日

優和福祉専門学校
自己評価委員会

目 次

1. 建学の精神・教育目標	1
2. 評価項目の取組状況	
(1) 教育理念・目標	1
(2) 学校運営	2
(3) 教育活動	3
(4) 学修成果	4
(5) 学生支援	5
(6) 教育環境	6
(7) 学生の受入れ募集	7

自己評価報告書

優和福祉専門学校

1. 建学の精神・教育目標

建学の精神 「人間の尊厳の尊重」

「人間の尊厳の尊重」を教育理念として、介護の倫理を身につけ、深い人間愛と広い視野を持つ介護専門職の養成を目的とします。

実践的な教育活動を展開することにより、介護の質を高め、地域福祉の向上に貢献し、より良き福祉社会を担える人材の育成を目指します。

教育目標

- 尊厳と自立を支えるケアができる人材の養成
- チームマネジメント能力の養成
- 多職種協働によるチームケア実践力の養成
- 地域で生活を支える共生力の養成
- 専門知識・技術を修得し、介護過程・認知症ケア等の実践力の養成
- 高い介護観・倫理観の育成
- 国家試験に合格できる力の養成

2. 評価項目の取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切---4、ほぼ適切---3、 やや適切---2、不適切---1
・理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4 3 2 1
・学校における職業訓練の特色は何か	4 3 2 1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4 3 2 1
・理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4 3 2 1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4 3 2 1

<現状・課題・改善>

- ・今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、導入研修と位置付けている校外研修を中止し、またオープンキャンパスは三密を避ける工夫し実施したが参加者は少なく、教育理念及び目標等を説明する機会が減少した。今後感染状況を見ながら、学生・保護者に説明の機会を設ける場やホームページの充実を図っていききたい。
- ・地域社会のニーズ等を踏まえて、本校の魅力でもある「学生に寄り添ったきめ細やかな教育」を柱として、本校の将来構想を構築し、具体的な計画の策定を図っていききたい。

(2) 学校運営

評価項目	適切---4、ほぼ適切---3、 やや適切---2、不適切---1			
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	3	2	1
・事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4	3	2	1
・運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	3	2	1
・人事、給与に関する制度は整備されているか	4	3	2	1
・教務・財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか	4	3	2	1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	3	2	1
・教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4	3	2	1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	3	2	1

<現状・課題・改善>

- ・教育活動等の情報公開を積極的にすすめていくことが求められている。ホームページ上で授業、演習及び学生生活の動画や介護施設の実習担当者のインタビュー動画等を取り入れながら3ヶ月毎の更新、及びインスタグラム・ツイッター等のSNSなど有効的に活用を図ることが、介護福祉のPR、学生募集にも繋がっていくと考えています。

(3) 教育活動

評価項目	適切---4、ほぼ適切---3、 やや適切---2、不適切---1
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4 (3) 2 1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	(4) 3 2 1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	(4) 3 2 1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	(4) 3 2 1
・関連分野の企業・関連施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4 (3) 2 1
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	(4) 3 2 1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4 (3) 2 1
・職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	(4) 3 2 1
・成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	(4) 3 2 1
・資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置付けはあるか	(4) 3 2 1
・人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教育を確保しているか	(4) 3 2 1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・業務含め）の提供先を確保するマネジメントが行われているか	4 3 (2) 1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4 3 (2) 1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 3 (2) 1

<現状・課題・改善>

- ・今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、年度当初から休校措置を取り 5 月中旬から半日授業を開始し、学生の健康状態、国県の方針を確認しながら運営され、6 月より通常授業を実施する。また、途中感染拡大防止のため、数回の休校措置を実施したこともあり、夏季休業を短縮し授業時間を確保する。その中において、他校がすべての校外実習を校内実習に切り替える中、後期の校外実習は施設側の協力を得て、1・2 年生共に実施できた。
- ・優れた教員の提供先(大学等)との結びつきは弱く、今まで外部講師が退職した時には、後任の講師を紹介いただき個人的に確保している状況です。今後、外部講師が高齢化していること、高度な教育を確保することを考慮すると組織的にルートを確保することが必要になっています。
- ・教職員の能力開発のための研修は必要であるが、日々の業務に追われて校内外で研修することが難しく、個人的な努力に頼っているところが現状です。

(4) 学修成果

評価項目	適切---4、ほぼ適切---3、 やや適切---2、不適切---1			
・就職率の向上が図られているか	4	3	2	1
・資格取得率の向上が図られているか	4	3	2	1
・退学率の低減が図られているか	4	3	2	1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	3	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか	4	3	2	1

<現状・課題・改善>

- ・退学者を出さないよう、学業等の支援を図ったり何度も話し合ったりしたが、本年度退学者 2 名を出しました。将来の目的・方針が不明確な学生が散見され、学力面ではまだ救う道、支援する方法もあるので、学生本人のしっかりした介護への目標確立の支援等を図りたい。

(5) 学生支援

評価項目	適切---4、ほぼ適切---3、 やや適切---2、不適切---1
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生相談に関する体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④ 3 2 1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4 ③ 2 1
・保護者と適切に連携しているか	4 ③ 2 1
・卒業生への支援体制はあるか	4 ③ 2 1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4 ③ 2 1
・高校・高等専門学校等との連携によるキャリア教育・ 職業教育の取組が行われているか	4 ③ 2 1

<現状・課題・改善>

- ・学生の希望により、教員が早朝・放課後の補講、学内実習の練習等に対応している。
- ・多くの卒業生が来校し、教員（担任）を頼って日々の悩み等相談に乗って対応しているが、組織としての支援体制は整っていない課題があります。
- ・高校のキャリア教育の一環で介護の魅力を発信しながら、出張授業を実施しているが、介護福祉への希望者が増えるなど結果がなかなか出ない状況です。
- ・学生への経済支援は、本年度より高等教育無償化制度が始まり、授業料等減免及び日本学生支援機構の給付型奨学金と今までの修学資金等を含めると、介護福祉士を目指す学生の経済支援は充実している。
- ・学生の健康管理は健康シートを配付し、毎日の検温等を記入させ体調確認している。また、常時マスクの着用、手指消毒、換気、三密を避けるなどの感染拡大防止対策をとっている。また、実習参加者（含 巡回指導教員）は校外実習開始の2週間前までに全員

抗体検査を実施している。

奨学金利用状況

(単位：名)

種類名		H28	H29	H30	R1	R2
介護福祉士等修学資金		8	8	5	6	7
高等教育無償化制度 (授業料等減免)		—	—	—	—	2
日本学生支援機構	給付型	—	—	—	—	2
	第1種	0	0	0	0	1
	第2種	3	0	2	0	1
生命保険協会奨学金		1	1	1	1	0
合計		12	9	8	7	13

(6) 教育環境

評価項目	適切---4、ほぼ適切---3、 やや適切---2、不適切---1			
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	2	1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	3	2	1
・防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1

<現状・課題・改善>

- ・校外の実習施設、校内実習の施設・備品は十分な教育整備をしているが、インターンシップ・海外研修等については不十分です。
- ・グループワークなど調べる学習等で活用するためにも校舎内のネット環境(WiFi)の整備・改善により、より良い環境を図りたい。
- ・防災管理マニュアルは整備されているが、周知徹底が必要である。防災備品(ヘルメット・防災頭巾等)については順次整備を図りたい。

(7) 学生の受入れ募集

評価項目	適切---4、ほぼ適切---3、 やや適切---2、不適切---1
・学生募集活動は、適正に行われているか	4 (3) 2 1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4 (3) 2 1
・学納金は妥当なものとなっているか	4 (3) 2 1

<現状・課題・改善>

- ・今年度は新型コロナウイルスのため高校訪問が制限され、訪問による募集活動に影響があった。三密を避ける工夫してオープンキャンパスは実施したが、前年より参加者が少なく、また業者によるガイダンスも中止になることが多かった。
- ・訪問募集活動の際に学校情報の他、介護の魅力、介護業界の現況、将来の見通し、資格ルートなどの情報を提供するなど工夫して活動する。
- ・介護の仕事が理解されるためには、高校生への PR や啓蒙だけでは時期的に遅いと感じられ、小・中学校生への働きかけの工夫が必要と考えます。
- ・ホームページに積極的に情報を出し、3ヶ月毎に更新するなど、ネットを利用して募集活動を図る。
- ・今年度カリキュラム改正等により授業時間が増えた等の要因により、学納金の引上げを予定していますが、他校に比べても低い水準となっています。

以上、自己評価報告書を作成しましたので、学校関係者評価委員会に提出いたします。